

求められる共創の場づくり

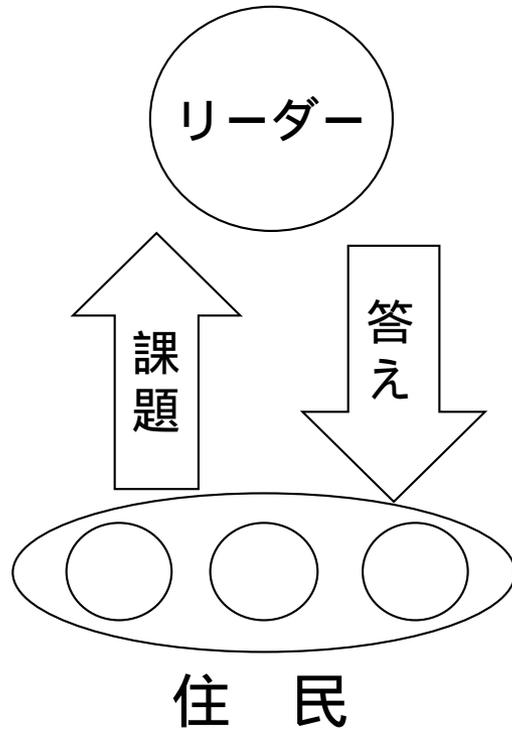
横展開を 図るための考察 ③



共創の場
づくり
に
不可
欠
な
プ
ロ
セ
ス

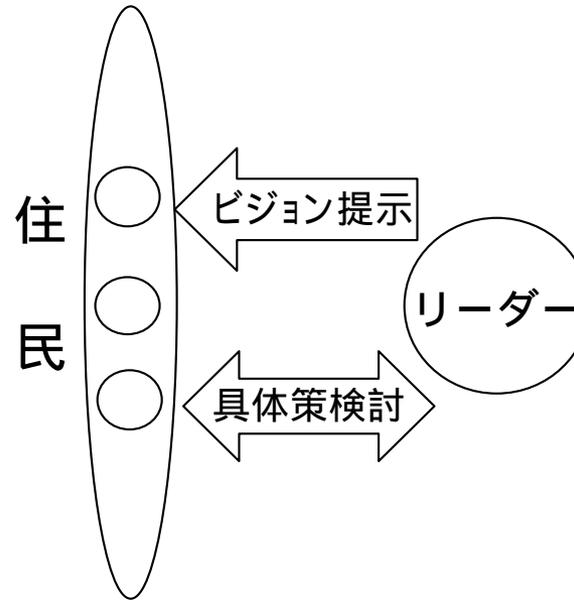
共創の場づくり求められるリーダーシップ

トップダウン型



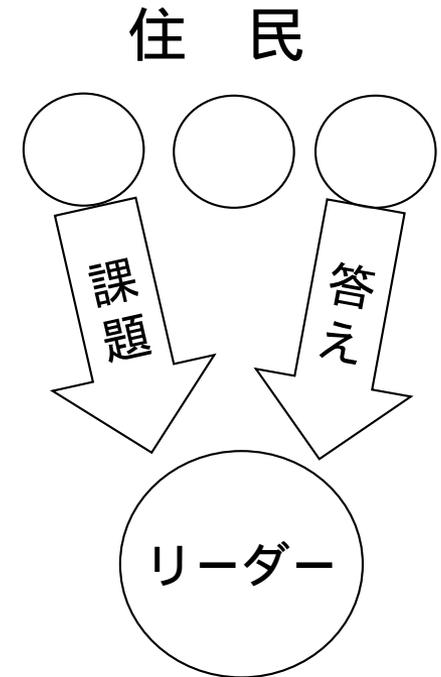
住民は受身の立場（選挙公約が典型的）
リーダーは全知全能ではないので、出せる答えは限られている（出せない場合は先送り）

キャッチボール型



リーダーはビジョンを提示
住民とキャッチボールをして具体策を検討
（例：将来ビジョンからバックキャスト）

ボトムアップ型



住民が主体的に課題の答えを見出す
リーダーは触媒（カタリスト）の機能を発揮

共創の場

「三重苦」の克服なくして地方創生なし、地方創生なくして日本の再生なし

・人口減少、少子化、
高齡化



人材サイクルの構築

(子育て世代を子育てしやすい地方へ)

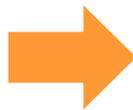
・国も地方も財政難



経済再生・財政健全化の一体的改革

(地域の経済自立度向上、ボトムアップ
の行財政改革)

・自立心の欠如
= 「受け身の社会」



**自立志向のクリエイティブ・コミュニティ
の創出(「善い地域」の重要な要素)**



「競争」から**「共創」**へ

「トップダウン」から**「ボトムアップ」**へ

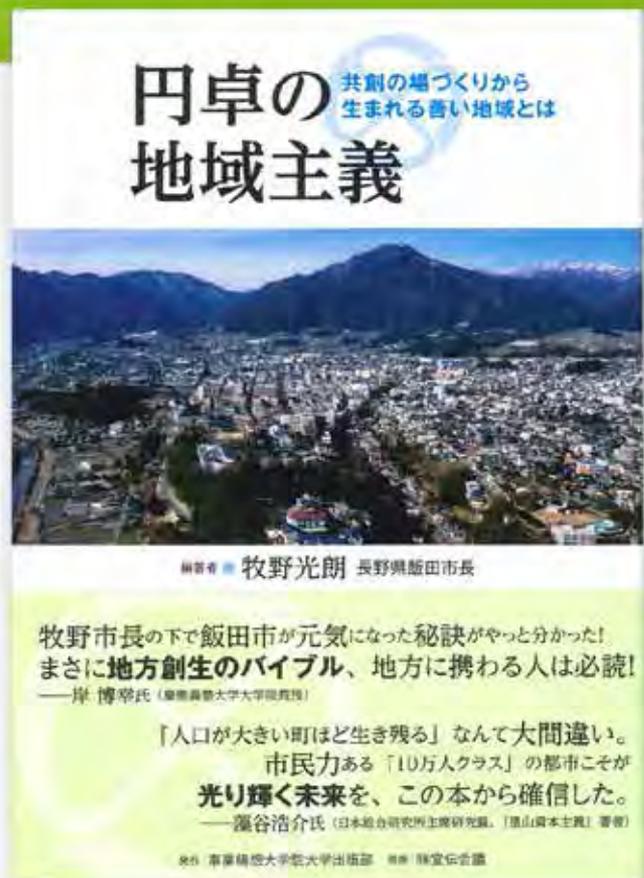
そして他よりはマシと考える「良い地域」から

誰もが認める**「善い地域」**へ

円卓の地域主義

第4章

I すべては当事者意識から始まる



はじめに ニッポンの若者へ
飯田からこれからの地域づくりを考える

1章 私と飯田

2章 輝ける世界の10万都市を目指して
—ドイツの都市を探索する—

3章 飯田型まちづくりの実践
—円卓から共創の場づくりへ—

4章 円卓の地域主義
—10万人規模の地方都市から地域を学ぶ
みなさんへのメッセージ—

鼎談 10万人規模の地方都市で生きるということ

ご清聴ありがとうございました。